

## アイリッジのファン育成プラットフォーム「FANSHIP」が 福井県民生活協同組合の「ハーツアプリ」に導入 CRM システムと連携し、組合員（顧客）に対する One to One コミュニケーションを強化 アプリ会員数は現在の3万人から4万人の達成へ（2022年3月末）

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所マザーズ：3917、以下「アイリッジ」）は、提供するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」が、2021年11月1日に福井県民生活協同組合（本部：福井県福井市、理事長：松宮 幹雄、以下「福井県民生協」）の「ハーツアプリ」に導入されたことを発表します。「ハーツアプリ」は、福井県民生協が運営するスーパーマーケット「ハーツ」の店舗体験をさらに充実させる公式アプリで、アイリッジは「FANSHIP」を通じて、マーケティング業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）とファン育成を支援していきます。

「ハーツアプリ」は、福井県民生協の組合員向けに、デジタルポイントカード機能や特売チラシ、クーポンなどを提供するアプリです。2020年12月の提供開始以降、2021年9月時点でアプリ会員数3万人を達成するなど順調にユーザー数を伸ばしてきており、今年度中の4万ダウンロード達成に向けたユーザーごとのコミュニケーション強化が次の目標となっていました。これに対して、アイリッジのファン育成プラットフォーム「FANSHIP」は、「ハーツ」のCRM（顧客関係管理）システムと連携し、顧客の属性や利用状況に合わせたプッシュ配信ができる点や、「FANSHIP」サービス利用におけるサポートの手厚さが評価され、アプリマーケティングツールとして採用されることになりました。

アイリッジでは、「ハーツ」とアプリ保有顧客との接点を強化するために必要なフレームワーク作成等のマーケティング設計も支援しています。今後は、シナリオに沿った自動プッシュ通知やCRM情報に基づくOne to One コミュニケーションを通じて、マーケティング業務のDXを支援するとともに、来店前から来店中、来店後まで途切れることのない快適なユーザー体験を提供し「ハーツ」のファンを増やしていくことを目指します。



### 「ハーツアプリ」について

#### ・アプリ紹介ページ

<https://www.fukui.coop/lp/hearts-app/>

## ・ FANSHIP 導入日

2021年11月1日

## ・ 主な提供機能

### 1) デジタルポイントカード

アプリにログインするとデジタルハーツカード（ポイントカード）をご利用いただけます。スマホ1つでカード  
いらず、財布の中からカードを探す手間がなくなります。今貯まっているポイント履歴も確認できます。

### 2) 特売チラシ

見たいときにすぐ特売チラシを見ることができます。チラシの配布がない地域の方、新聞を購読されていない方  
にも特売チラシが届きます。

### 3) 旬な情報配信

お買得情報やこだわりの商品、イベント情報などを随時お届けします

### 4) アプリクーポン

アプリに表示されたクーポンバーコードを店頭で見せるだけで、お得なクーポンが利用できます。平日 2 割引、  
シニアスマイルポイント 5 倍、子育てママポイント 5 倍などの割引サービスのクーポンをご用意しています。

### 5) 商品予約

カタログがなくても、アプリでお寿司やお刺身、オードブルを予約注文できます。

## ・ アプリダウンロードページ

iPhone : <https://apps.apple.com/jp/app/id1540212474>

Android : <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.hearts.coop.fukui&hl=ja&gl=US>

## FANSHIP（ファンシップ）とは

「FANSHIP」は、顧客を優良顧客へと育成し売上・利益を最大化するファン育成プラットフォームです。顧客  
のオンライン行動履歴とオフライン行動履歴、CRM データを取得・分析して結び付きの強さ（ファンレベル）ご  
とにセグメンテーションでき、分析後は、自社アプリでの施策に加え、LINE を通じたコミュニケーションが有  
効な顧客には LINE 公式アカウントでのプッシュ通知や One to One トーク等での施策も可能です。金融機関で  
の導入事例も多く、メガバンクを始めとして約 50 の機関をご支援しています。

<https://www.fanship.jp/>

### 株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日より  
も便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO（Online Merges with Offline）支  
援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI（音声インターフェース）、業務支援等、幅広い領域で DX を支援し  
ています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績に加え、アプリマーケティングにも強みを持  
ち、データに基づく施策でユーザーを優良顧客へと育成するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」を通じて、購買促進  
や CX 改善の支援を行っています。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。